

「群馬県一大きな笠懸小学校は思いやりも群馬県一」を目指します！



みどり市立笠懸小学校  
学校だより No.11  
2021.1.27  
<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 給食時間の指導を強化しています...



気温5℃でも元気です！中には短パン半そでの猛者も…。

一層の感染症対策が求められる中ですが、首都圏で飲食店に時短要請をしているように、学校生活の中でリスクが高いのはやはり給食の時間です。笠小では、毎日4校時後に「給食準備と給食中にはお話をしないように！」との放送が入ります。校内を見回ると学級によって多少の差はありますが、おおむね行儀よく準備したり、食べたりしています。

考えてみれば、子どもたちにとって楽しい給食の時間に「しゃべらないで」とは無理な注文ですが、それでも感染症を意識して約束を守りながら生活しています。子どもたちに感謝！



前を向いて静かに食べる2年生。

3連休明けの火曜日、日差しはなく、どんよりした雲の下、昼休みに校庭から「校長先生！」という声が…。窓を開けてみると、校庭には寒さ知らずの元気な子どもたちがたくさん遊んでいました。

縄跳びをする子、サッカーやドッジボールをする子、鉄棒をする子などさまざま過ごし方でお昼休みを楽しんでいました。

## シリーズ“学力向上”③ ~笠小の「受けない授業」~



4年生の算数「面積」の求め方を考える学習では、教員が「20個のブロックでまわりを囲んで長方形や正方形の花壇をつくります」という課題を出し、どの並べ方が一番広い花壇になるのかを予想させました。すると縦4つ横6つの並べ方(長方形)と縦横5つずつの並べ方(正方形)に、ほぼ分かれました。面積の求め方は教えずに広さを比べましたが、ノートのマスを利用してマスを数えたり、プリントを切り抜いて重ねたり、個別に答えを追究しました。その後、それぞれの考え方を発表し、

「面積」の意味や求め方を全体で共有しました。

もちろん4×6よりも5×5の方が、面積が広がりますが、右のノートのように、見た目では案外分からないものです。最後に、ある子が「周りの長さが同じなのに面積が違うなんて不思議だな」とつぶやいていましたが、思わずうなずいてしまいました。

この授業の黒板は、授業の終わりに子どもたちが振り返った時、学習の流れが一目で分かるように工夫されていました。これならその日の学習内容が一目で確認でき、振り返りの時間にはたいへん有効です。

今回も含め、これまでに紹介した授業は、研究会用の授業ではなく、ごくごく日常的に行われている授業です。今後も引き続き、工夫された中身の濃い授業を紹介していきます。

